

提出 順番	No. 3	令和 4 年 2 月 24 日 午前・ 午後 3 時 15 分受領
----------	----------	---

令和 4 年 2 月 24 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 エシカル消費の理解と促進について	<p>消費者庁が普及させようとしている「エシカル消費」という言葉があります。エシカルを日本語に訳すると「倫理的な」「道徳的な」という意味を持ち、「エシカル消費」とは地球環境、人権、動物福祉などに配慮した物を選んで買うことを示すものです。具体的には省エネ製品や被災地復興のための商品、発展途上国の労働者を支援するフェアトレード（公正貿易）商品の購入などですが、身近なところでは障がい者が携わっている商品やエコ・リサイクル製品、また、環境への負荷を少なくするという意味では農薬や化学肥料を控えた有機野菜を選ぶこともひとつかと考えます。形が不ぞろいでも味は同じ「わけあり」食品の購入、食べられるのに廃棄される食品ロスの削減、さらには、物を大切にし、ごみを減らす「もったいない」の実践もエシカル消費になります。</p> <p>欧米では、その取組が既に進んでいるようですが、消費者庁の調査では日本は認知度がわずか12.2%に留まっています。今後どう普及させるかが大きな課題とされていますが、エシカル消費の広がりには国際社会に環境問題や貧困対策などへの取り組みを求める国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも寄与するものと考えます。</p> <p>そこで、未来を担う子どもたちのためにも小中学校などで、エシカル消費を「持続可能な開発のための教育」、「消費者教育」などに位置付けて学習内容に取り入れてはいかがかと思われませんが見解を伺います。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 マイナンバーカード普及利活用について	<p>マイナンバーカードの交付は2016年1月にスタートし、身分証として使えるほか、一部自治体ではコンビニで住民票や印鑑証明が受け取れるようになりましたが、全国の自治体においてはカードの普及率はまだまだ低いというのが現実です。</p> <p>国の目標では2022年度末までに、ほぼ全ての国民にマイナンバーカードが行き渡るように勧めています。全国でのカード交付枚数率は2022年2月1日現在で41.8%、北海道では37.9%、幕別町では30.4%と発表されています。幕別町でのマイナンバーカードの普及率の低い要因の一つに、所有するメリットをあまり感じないということが理由にあるようです。一方国では、マイナンバーカードの普及に向け、消費の下支えの一環として2020年9月よりマイナポイント第1弾として最大5,000円分ポイント還元を、そして2022年1月からは第2弾として新規取得者、健康保険証として利用登録、公金受取口座の登録をすることにより最大2万円分のポイント還元が予定されています。この事業によって本町の普及率に変化が現れたのかお伺いします。</p> <p>① マイナンバーカードの普及率向上のためにどのような対策、取組が行われているのか</p> <p>② 申請、交付しやすい環境整備がなされているか</p> <p>③ 町職員のマイナンバーカードの取得率は</p> <p>④ マイキープラットフォームの運用について本町としての見解は</p> <p>⑤ 今後行政手続きや業務のデジタル化の推進に向けての課題は</p>